

令和5年度愛媛から「体験の風をおこそう」運動推進事業 「体験フェスティバルin交流の家」

1 ねらい

多くの地域住民の参加を得て、地域づくりの一拠点として「国立大洲青少年交流の家」においてフェスティバルを開催する。様々な体験プログラムを通して体験活動の裾野を広げるとともに地域住民の交流を図ることを目的とする。

また、「体験の風をおこそう推進事業」として、子どもや保護者を対象に、自然体験や生活体験等に取り組む「子ども体験遊びリンピック」を同時開催する。



2 実施日

令和5年10月21日（土）10時00分～15時30分（入場は15時まで）

3 内容

展示コーナー 華道展・昆虫展・人権啓発パネルの展示・リサイクル製品等の展示・ボーイスカウト運動の展示・健康をテーマとした展示



体験コーナー ビニールプールカヌー・クライミング体験・放水体験・煙体験・パトカー乗車体験・茶道体験・人KEN まもる犬の作成・ロープワーク・健康をテーマとした体験・とんぼ玉ブックメーカーづくり・3R体験・ミニ方位磁石作り・バードコール・昭和の遊び・モルックなど



飲食コーナー 大洲コロッケの販売・農産物・加工品の販売・軽食・テイクアウト・和菓子の販売・菓子パンの販売等

子ども体験遊びリンピック (OZU 遊びリンピック) 紙ひこうき飛ばし



4 活動場所

国立大洲青少年交流の家

5 参加対象

未就学児～大人まで

(未就学児は保護者の同伴が必要)

6 参加者数

未就学児から大人まで 合計1,652名

7 活動内容

かんぼラジオ体操広場やクライミング場等の屋外に多くの体験ブースを設置し、ホール等の屋内の広い場所で展示ブースを設置した。体験会場を活動内容に合わせて分散させて展開することで、利用される方々に広々とした場所でゆったりと体験できる形で実施した。

かんぼラジオ体操広場では、ビニールプールカヌーや放水体験、煙体験、パトカー乗車体験、昭和の遊び、モルック体験、ボッチャなどが行われた。初めて乗るカヌー等、子供たちが目を輝かせながら体験する姿やその様子を温かく見守る保護者の姿が印象的だった。

芝生広場では、子ども体験遊びリンピック (OZU 遊びリンピック) として紙ひこうき飛ばし大会を開催し、記録チャンピオンを目指して創造性のある紙ひこうきを作り上げ、記録を出そうと取り組む姿が見られた。その他、クライミング体験、華道の展示、茶道体験等の体験活動を楽しんでいた。

8 参加者の声

事業後アンケートの結果 (227名 ※未回答者含む)

*満足：93.0% *満足：6.6% *やや不満：0.0% *不満：0.0%

「大人も子供も楽しめました。また来年も来たい。」「楽しかったけど、時間が足りなかった。」「広々していて、人が多くても混乱せずに楽しめた。」等の声を聞いた。